

気候変動への適応について学ぼう

富山県環境科学センター・富山県気候変動適応センター

● どんな工作・実験なの？

気候変動の影響で熱中症が増えている可能性があります。

熱中症は、暑い場所で長い時間過ごしたり、水分をとらなかつたりすることで体温が上がり、めまいや頭痛などの症状を起こします。そこで、「色が変わるオリジナル温度計」を作って、いつでも見えるところに置いて、水分補給を心がけましょう。

● 用意するもの

- ・示温インク No.114-0311 (Kenis)
- ・絵具、洗濯のり
- ・台紙(ラベルシール)、マグネットシート
- ・ドライヤー

● 工作・実験のしかたとコツ

① インク作り

パレットに洗濯のりを適量だし、示温インクを数滴加えます。温度が低いと青紫色、高いとピンク色になります。

② 色塗り及び乾燥

①で作ったインクで台紙に色を塗ります。出来上がったら、ドライヤーで乾かします。

③ 貼り付け

インクが乾いたら、マグネットシートに貼り付けます

● 気をつけよう

インクが手に着いたら、すぐ洗いましょう。

● もっとくわしく知るために

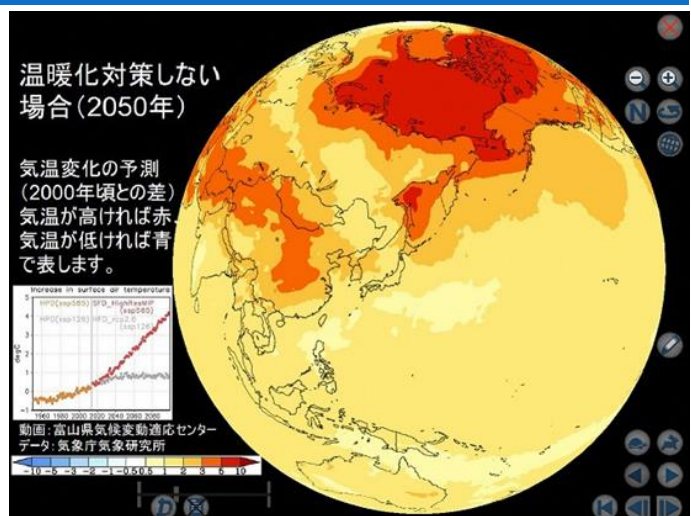
気候変動による気温の変化をダジック・アース

※ (デジタル四次元地球儀)で見てみましょう。温暖化対策をした場合としなかった場合を比べることができるほか、植生や宇宙から見た夜の明かりなど様々な動画を自分で動かしながら立体的に見ることができます。

※ダジック・アースは京都大学で開発されたもので、パソコンやスマートフォンからも地球や惑星などの画像を見ることができます。



作品例(図:国立環境研究所「熱中症予防の心得」より)



ダジック・アース表示例